

本能寺跡



<http://digitalarchiveproject.jp/information/本能寺跡>



天正 10 年(1582)6 月 2 日、明智光秀が謀反を起こして、京都本能寺に宿泊していた主君織田信長を襲撃した。包囲された信長は、寺に火を放ち、自害して果てた。

信長の嫡男織田信忠は、妙覚寺から二条御新造に退いて戦ったが、万策尽きて自害した。長近の嫡男忠次郎も二条城で一緒に亡くなっている。

<寺町御池の本能寺>

京都府京都市寺町御池にあり、寺名は「大本山 本能寺」である。一般的には、本能寺と呼称されている。

天正 17 年(1589)、秀吉は本能寺の再建を現地再建でなく、寺町御池に移転を命じた。

本能寺の戦没者合祀碑には、金森長近の嫡男金森忠次郎の名前が記されている。

リーフレットより

本能寺 由緒沿革

当山の宗名は「法華宗」くわしくは「妙法蓮華経宗」という。

宗祖日蓮大聖人の滅後 133 年開基日隆聖人が法華宗の正義を再興せんが為、応永 22 年(1415)布教の根本道場として創建された。

史上有名な「本能寺の変」は、天正 10 年 6 月 2 日、一代の英雄信長も光秀の不意襲撃を受け、当山の大伽藍と共に一辺の煙と化した。時の本能寺は四條油小路に在り、秀吉の代寺領換地となり現在地に移転。信長の第三子信孝の願いにより、当山内に信長公廟所をまつる。

現本堂は創建以来の第七建立、建築様式は鎌倉室町時代の粋を集め、およそ 10 ヶ年の歳月を費して昭和 3 年に完成、大正、昭和期に於ける我が国の代表的木造寺院建築といわれる。

大本山本能寺

説明板より



001.①川原町本能寺の門前001



002.①川原町本能寺の門前002



003.①川原町本能寺の門前003



004.①川原町本能寺の門前004



005.①川原町本能寺の門前005



006.①川原町本能寺の門前006



007.①川原町本能寺の門前007



008.①川原町本能寺の門前008



009.①川原町本能寺の門前009



010.②川原町本能寺・長則墓碑001



011.②川原町本能寺・長則墓碑002



012.②川原町本能寺・長則墓碑003



013.②川原町本能寺・長則墓碑004



014.②川原町本能寺・長則墓碑005



015.②川原町本能寺・長則墓碑006



016.②川原町本能寺・長則墓碑007



017.②川原町本能寺・長則墓碑008



018.②川原町本能寺・長則墓碑009



019.②川原町本能寺・長則墓碑010



020.②川原町本能寺・長則墓碑011



021.②川原町本能寺・長則墓碑012



022.③実際の本能寺跡001



023.③実際の本能寺跡002



024.③実際の本能寺跡003



025.③実際の本能寺跡004



026.③実際の本能寺跡005



027.③実際の本能寺跡006



028.③実際の本能寺跡007



029.③実際の本能寺跡008